

JCMA 報告

ISO/TC 195 米国・シカゴ 国際会議報告

標準部

1. はじめに

毎年5月に開催されるISO/TC 195（建設用機械及び装置）、SC 1（コンクリート機械及び装置分科委員会）及び各WG（作業グループ）の国際会議が、今年（平成20年）4月15日～18日の4日間、シカゴ（米国）のダウントウンにあるHilton Suites Hotelの会議室で、下記日程にて開催され、P（積極的参加）メンバーである日本からは、「新規分野・産業競争力強化型国際標準提案（コンクリート機械等分野）」事業（経済産業省施策）の一貫として、表-1に示す3名の関係者が日本代表として出席した。

- 4月15日 ISO/TC 195/SC 1（コンクリート機械：日本が幹事及び議長国）会議
 4月16日 ISO/TC 195/WG 5（道路機械）及びWG 8（破砕機：日本がコンビナー）各会議
 4月17日 ISO/TC 195/WG 7（手押し式締固め機械）会議
 4月18日 ISO/TC 195 本会議

表-1 日本からの出席者

氏名	役割
大村高慶	ISO/TC 195 /SC 1 議長
養安豊彦	ISO/TC 195 /WG 8 コンビナー
阿部 裕	協会 ISO/TC 195 事務局, ISO/TC 195 /SC 1 及びWG 8 幹事

以下に各会議の概要を報告する。

2. 会議概要

(1) 4月15日：ISO/TC 195/SC 1（コンクリート機械関係）会議

【出席者】：中国（8）、ドイツ（3）、イタリア（1）、ポーランド（2）、スウェーデン（1）、米国（5）、日本（3）／大村高慶（議長）、阿部裕（幹事）、養安豊彦 計7ヶ国23名

SC 1のこの1年間の活動について、議長国日本から報告の後、推進中の2件（ISO 18651（内部振動機）及びISO 21573-2（コンクリートポンプ－性能試験方法））の規格、新業務項目提案（以下NWIP）承認後に、事前検討に時間を要することから一旦キャンセルし、再スタートすることとなったコンクリートポンプ等の安全要求事項、及び2件のNWIPについて、報告・討議・検討を行い、下記合意を得た。

①ISO/FDIS 21573-2（コンクリートポンプ－性能試験方法）

現在2008-05-25締切りでFDISの投票にかけている旨の確認を行うとともに、期限内での賛成投票の依頼を行った。

②ISO/CD 18651（内部振動機）

昨年タイムリミットのためISOルールによって自動的にキャンセルされ、CDレベルから再スタートすることとなったが、ドイツ及び米国のエキスパート（WACKER社）は、Annex B（Frequency and Double amplitude Measurement）及びAnnex C（Compaction Diameter Measurement）を削除することを主張、これに対しポーランドは反対したが、最終的に次の通りとなった。

- 1) Annex B及びCを削除した「用語と仕様項目」のみの新CD案を作成、ISO中央事務局に送付し、DISに移行するための投票にかける。
- 2) Annex Bの振動計測に関し、現在存在する振動の規格を調査し、その扱いを再検討する。
- 3) Annex C “Compaction Diameter Measurement” はNWIPとして単独案を提出する。

③WG 1コンクリートポンプ等の安全要求事項（NP 24313は一旦取り下げ）

昨年の韓国済州島会議にて宿題となっていた米国規格及び中国規格との比較表を準備し、NWIPまでのスケジュールを提案したが、さらに中国規格の引用規格部分の英訳・確認、カナダ及びEN規格（改訂版）を加えた比較表を整備する必要があるとのことで、NWIP及びWG 1のコンビナー指名は2009年まで保留することとなった。

④ NWIP Concrete batching plant – Safety

現在 2008-07-07 締切りで投票にかけている旨の確認を行うとともに、期限内での賛成投票の依頼を行った。

⑤ NWIP Floating machine – Safety

米国より 2008-05-15 までに入手し、投票にかけることとなった。

(2) 4月16日：ISO/TC 195/WG 8（骨材処理用機械及び装置）会議

【出席者】：中国（2）、フィンランド（1）、ドイツ（2）、ポーランド（1）、米国（1）、日本（2）／養安豊彦（コンビナー）、阿部裕（幹事）計6ヶ国9名

推進中の2件（ISO 21873-1（破砕機－用語及び仕様項目）及びISO 21873-2（破砕機－安全要求事項））について、報告・討議・検討を行い、下記合意を得た。

① ISO/DIS 21873-1（破砕機－用語及び仕様項目）

現在 FDIS 投票（締切：2008-05-12）にかけていることを確認し、期限内での賛成投票の依頼をした。また米国からの編集上のコメントの確認も行った。

② ISO/CD 21873-2（破砕機－安全要求事項）

CD に対するコメントについて討議、この結果を基に作成した DIS 案を 2008-04-30 までにメンバーに確認のため配布し、幹事国ポーランドへは 2008-05-30 までに提出することとした。

(3) 4月18日：ISO/TC 195 本会議

【出席者】：中国（8）、フィンランド（1）、ドイツ（6）、イタリア（1）、ポーランド（2）、スウェーデン（1）、米国（10）、日本（3）／議長：Mr. Budny、幹事：Mr. Rozbiewski／書記：米国、ドイツ、日本より各1名計8ヶ国32名

TC 195 幹事国ポーランドの議長 Mr. Budny 氏の挨拶の後、議題に沿った報告・討議・検討が行われ、前3日間の会議の結果が承認された。

最後に、今回の会議開催にあたり会場設定等を行った Mr. Dann Moss (AEM) 及び米国の支援メンバーの努力に謝意を表し、また SC 1, WG 5, WG 7, WG 8 の開催にあたり、それぞれ Mr. T.Omura, Mr. G. Piller (ドイツ), Mr. F.Wenzel (米国), Mr. T.Youan の尽力に感謝し、閉会した。

次回は、2009年5月11日～15日 中国で、再来年は、2010年5月10日～14日 ポーランドで開催予定とした。



写真一 1 ISO/TC 195 会議風景



写真一 2 ISO/TC 195 会議出席者

(4) その他の WG 会議

4/16 に WG 8 の会議と併行して WG 5 の会議が、4/17 には WG 7 の会議が開催されたので、それぞれ下記に結果概要を記す。

① ISO/TC 195/WG 5（道路機械）会議

－ ISO 15878 (Asphalt pavers – Terminology and commercial specifications) は、2008-02-08 に FDIS 投票が締切・承認され、同月に発行された。

－ Work site data exchange に関する ISO/DIS 15143-1 及び-2 について、ISO/TC 127 議長の Mr. Dan Rolley から TC 127 における規格の進捗状況報告があり、適用範囲に道路機械を含めることで合意。

－ 米国は、Self propelled Sweepers – Terminology and commercial specifications の NWIP を再度提出する。

－ Adoption of EN Standard – Road construction and maintenance equipment – Safety スウェーデンの Mr. Samuelson が EN 500 をベースに ISO の原案を準備することとなった。

② ISO/TC 195/WG 7 (手押し式締固め機械) 会議
 - ISO 19433 (Pedestrian controlled vibratory plates) 及び ISO 19452 (Pedestrian controlled vibratory rammers) は、2008-04-15 発行された。
 - Impact force の測定方法については、スウェーデン (Dynapac)、ポーランドのテスト結果の報告及びスウェーデンのテスト結果に対して米国で行ったテストを基にした反論があり、Multiquip (米国)、Dynapac (スウェーデン) 及び IMBiGS (ポーランド) は、上記双方のテスト結果に対する評価を行うこととなった。

3. その他

この国際会議は、今回で 18 回目になります。2004 年にシカゴで開催した以外、例年 5 月に TC 195 の幹事国であるポーランドで開催してきましたが、前回は韓国済州島で開催、今回も中国北京で 5 月に開催予定となっていました。ところが中国が (オリンピックの影響でか?) 開催に間に合うタイミングで政府の承認がもらえず、急遽 AEM の尽力によってシカゴで開催の運び (会場の都合で例年の 5 月ではなく 4 月) となりました。我々にとっては、毒入り冷凍餃子、チベット騒動等に巻き込まれる可能性も回避できて、よかったのかも知れません。

早めに会議を終えた 3 日目の夕方に、シカゴ川からミシガン湖 (海にしか見えない) を遊覧するボートに乗り、シカゴ川からは古いものから新しいものまで数

多くの世界的に有名な建築物 (写真—3 のシアーズタワー (443 m) 等) を座席に座ったままで眺めることができ (会議で飛び交う各国の英語と違い、説明員の英語が分かりやすく感動)、ミシガン湖ではこれが湖かと思うような波をかぶったり、また川面より水面が高くなっている湖へは堰を使って出入り (2 箇所の堰で水位を調整) すると言った珍しい経験もできました。遊覧時間は約 90 分、料金は大人 \$23/人ですので、シカゴに行ったら是非体験すべきお奨めツアーです。

JCMA



写真—3 シカゴ川からのシアーズタワー